

田舎暮らしを愉しみながら、 ライダー達に愛される癒しの宿を目指します！

川根ライダーハウスやおき 伊久美 緑さん

平成30年度志太ビジネスプラングランプリにて準グランプリを獲得。川根本町にある築150年の古民家を改修し、平成31年3月に女性ライダーが安心して泊まれる「川根ライダーハウスやおき」をオープンした。女将として宿を切り盛りしながら、自身も大型バイクを乗りこなす女性ライダー。



起業までのいきさつ

夫婦そろってバイクとツーリングが趣味でした。転職先を探すタイミングで夫が発したひとこと「ライダーハウスやってみないな」がきっかけで、様々なことが動き始めました。今まで「起業」など考えたことはありませんでしたが、そこはヤルとなったなら張り切る性格、2人で物件探しからスタートしました。



起業する上で大変だったこと

資金計画を立て、私たちの予算に収まる物件を探して回りました。場所としてはライダーが行き来する道沿いがベストです。探しながら気がついたことは、私たちの予算に合う物件はいわゆる古民家。予算内での物件は本格的な改修が必要な厳しいものばかり。ネットで調べて実物を見に行くと、落胆することもしばしばでした。しかし、のちに「やおき」となるこの古民家だけは違いました。第一印象から「ここしかない!」と思えるしっかりした造りと、雰囲気の良さを感じ、ここに決めました。場所が決まってからは自分たちで清掃や修繕を進め、自力でできない部分は、地域の商工会などの補助金を受けながらオープンに向けて着々と準備を進めました。

起業して良かったと感じる時は？

初めに私たちが感じたように、「やおき」のもつ空間としての雰囲気と川根本町の豊かな自然が、利用者のみなさんにとっても好評です。集客は大変ですが、ライダー必携の地図「ツーリングマップル」やWEBでの情報を見て来てくれる人も徐々に増えてきました。「ライダーハウスは初めて」というお客様も多く「楽しかった!」「また来ます」と笑顔の出發を見送るたびに、「ライダーハウスを始めてよかった」と実感しています。また、同じようにライダーハウスを経営する仲間たち（長野県、福井県）とも情報交換をしながら、お客様に喜んでもらえる新たな取り組みなどを考えるのも楽しい作業です。オープンして半年ですが、リピーターも出てきて「やおき」を気に入ってもらえることに喜びを感じています。



これからエフドアを利用する人に

ビジネスプランコンテストで準グランプリを獲得しましたが、粗削りなプランを磨いていく作業を、エフドアと一緒にしてくれました。頭で考えているだけではどうにもならないことは多々あります。起業はひとりではできないものなので、誰かに聞いてもらうのであれば、まず最初にエフドアに話していただくことをお勧めします。